

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします

令和7年4月、義務教育学校の6, 9年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。学力調査(国語と算数・数学、理科の3教科)と学習状況調査が行われました。

### ◇学力調査の結果より

#### <国語>

“話し合いの記録”や“チラシ広告”について、伝えたいことが適切に表された文章を選択する問題や、事柄の時間的な順序や登場人物の性格などを捉えて書き表す問題はよくできていました。一方で、目的に応じて詳しく説明を書く問題や、根拠を明確にして自分の考えを書く問題等、記述することについては課題がみられました。

これらのことから、要点を捉える力や表現の工夫を感じ取る力は身に付いていることが分かります。さらに自分の考えを筋道立てて話したり書いたりする力が伸ばしていくことを、これからの学習で大切にしていきます。

#### <算数・数学>

伴って変わる二つの数量関係について、表やグラフから必要な情報を読み取り問題を解決する関数領域の問題は大変よくできていました。6年生の面積の求め方を説明する記述問題や、9年生の整数の性質を数学的な表現(文字を使った式)を用いて説明する記述問題においては、正答率が低く課題がみられました。

これらのことから、日々の授業で学んできたことは身に付いていると考えられます。さらに、自分の考えたことを順序立てて説明する力を高めていくために、考えたことに自信がもてなかったとしても、ノートに記述することや、仲間と積極的に意見交流をすることなどに取り組めるとよいと考えます。また、そうした学習活動を、全学年で推進していきます。

#### <理科>

6年生では、「電磁石の強さが巻数によって変わる」ことや「花のつくりや受粉」についての知識に関する問題の正答率が高く、よくできていることが分かりました。9年生では「水道水と精製水についての探究発表に対する自分の考えを記述する問題」の正答率はおよそ8割で、多くの生徒が苦手とする記述問題でしたが、大変よくできていました。一方で、6年生「レタスの発芽条件について、差異点や共通点を基に、自分で課題づくりをする」ことについて、正答率は3割程度、さらに2割ほどが無回答であり、弱さがみられました。

これらのことから、学習したことはよく身に付いています。今後は、理科の学習活動において、予想や仮説を基に、自分で課題をつくり出し、表現することを大切にしていきます。

### ◇学習状況調査より(抜粋) (“あてはまる”・“どちらかと言えばあてはまる”と回答した割合〔%〕)

「将来の夢や目標を持っていますか。」

6年生：85.3% 9年生：66.7%

\*6年生では15%、9年生では3人に1人が夢や目標を持っていないことが分かりました。夢や目標は、生活に活力を生むことにもつながります。どの子どもが夢や目標を持って生活が送れるよう、さらなる支援をしていきます。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」6年生：99.4% 9年生：96.5%

\*数値は高いので良い結果に思えますが、“いじめは絶対に許さない”という姿勢(認識)が重要です。

一人ひとりが当事者意識(自己啓発)をもって、生活の諸問題を解決(行動)していく営みを、今後、より大切にしていきます。

「自分にはよいところがあると思いますか。」

6年生：92.4% 9年生：88.1%

「学校に行くのは楽しいと思いますか。」 6年生：94.3% 9年生：94.0%

\*上記4つの質問項目は、毎年気になる質問項目です。北方町では過去3年間で最高値を更新しています。学校生活を通して自分のよさを知り、伸ばし、発揮していくことができるよう、北方の教育を進めていきます。

「国語、算数・数学、理科の勉強は好きですか。」(教科ごとの質問の平均値) 6年生：73.5% 9年生：64.9%

「国語、算数・数学、理科で学習したことは、

将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」 6年生：93.4% 9年生：82.0%

\*学習したことが役に立つと感じながらも、勉強は好きになれないようです。学校は「できた」「わかった」と言える授業づくりを、児童生徒のみなさんは、仲間とともにあきらめずに取り組む姿勢を大切に、これからの学習に向かえるようにしていきます。